

上部消化管内視鏡検査説明、同意確認書

食道、胃、十二指腸には良性腫瘍、悪性腫瘍（癌など）、炎症などのさまざまな病気があります。これらの病気が疑われた場合に、上部消化管内視鏡検査は正しい診断を下し、適切な治療を行うために必要な検査です。

検査中に何か異常がみつかった場合や病変が疑われた場合には、必要に応じて、次の処置を行います。

- 1) 粘膜組織の一部をつまみとり（生検）、組織や細胞の顕微鏡検査（病理検査）を行います。

内視鏡検査の合併症として以下のことが報告されています。

カメラが粘膜にこすれて傷がつくことや、出血すること。非常にまれですが消化管に穴があくこと。前処置などに使用する薬剤によるアレルギー症状、血圧の変化。

生検による出血（肝臓、腎臓の障害のある方、止血機能の悪い方は出血しやすくなることがあります）、出血を助長する薬をお使いの方は、必ず事前にお申し出ください。

これらの合併症の発生頻度はきわめて低く、日本内視鏡学会が行った全国集計では合併症の発生頻度は内視鏡検査 10 万件に 7 件程度です。

当院ではこれらの合併症を予防するために十分な対策をとっております。

万一、合併症が生じた場合には十分な対処をいたします。

検査に対して不安がある場合や、これまでの検査で苦しい思いをした方には、希望により眠くなる鎮静剤を用いて検査を行います。

鎮静剤を用いた場合、血圧低下、呼吸抑制が起こることがあります。

投与後は、血圧、脈拍、血液中の酸素飽和度を計測しながら検査を行います。

検査終了後は、鎮静剤の効果を抑える薬を投与しますが、鎮静剤の効果が切れるまでは院内で休んでいただきます。

当日は自転車、自動車の運転は原則さけていただくようお願いいたします。

やむを得ず自転車、自動車で来院される場合、麻酔が覚めたことを確認してからお帰りいただきます。万一事故が起きた場合、当院は責任を負いかねますので、予めご了承ください。

こせんじょう通あんどうクリニック
院長 安藤 英也

上記の説明をうけ、検査に同意します。

鎮静剤の投与を ☐希望します

☐希望しません

令和 年 月 日

患者さま署名 _____

胃カメラ 問 診 票

氏名 () 検査日時 年 月 日

1. 今までに胃の内視鏡検査を受けられたことはありますか？

☐ ある (☐ 当病院・☐ 他病院)

ある場合、いつ頃ですか？ (年 月)

☐ ない

ピロリ菌の検査を受けたことがありますか

☐ なし または 不明

↓

ピロリ菌検査希望 (☐ する ☐ しない)

☐ ある → ピロリ菌の有無 → 除菌受けましたか

1. ない 2. ある 1. 受けてない 2. 受けた

2. 次の項目に該当するものには ☒ をつけてください。

☐ 歯の治療の麻酔で気分不良になったことがある

☐ 緑内障

☐ 高血圧

☐ 心臓病 (☐ 心筋梗塞・☐ 狭心症・☐ 不整脈)

☐ 肝臓病 (☐ 肝炎・☐ 肝硬変)

☐ 血液透析

☐ 前立腺肥大 (尿が出にくい)

☐ 血液が固まりにくい薬を服用している。

(☐ ワーファリン・☐ パナルジン・☐ バファリン・☐ バイアスピリン)

☐ 特になし

3. 次の項目に該当するものに ☒ をつけてください。

* 薬物アレルギー (☐ 無・☐ 有 薬の名前)

* 鼻の異常を指摘されたことある (湾曲・手術など) ☐ 無・☐ 有

4. 既往歴があればご記入ください。

()

5. 体重をご記入ください。 (Kg)

胃内視鏡検査(胃カメラ)を受けられる患者さまへ

検査日： 月 日 () 午前 :

(来院時間 :)

次の注意事項を守って、検査を受けてください

検査前日

夕食は消化の良いもので 21 時まで済ませ、それ以降は食べないでください。
(水分は取っていただいてもかまいません)
普段服用されている就寝前の薬は、いつものように服用してください。

検査当日

朝食は取らないでください。(水、お茶に限り 1 時間前まで少量のみ可)
朝食後の薬も飲まないでください。
糖尿病のためのインシュリン注射を使用してみえる方は、前もって主治医に相談し指示を受けてから来院してください。
髪が長い場合は、束ねるものをご持参下さい。

検査後

麻酔の影響が取れるまで時間がかかります。検査終了後 1 時間は絶対に水を飲んだり、食事を取ったりしないでください(うがいは構いません)。
場合によっては、麻酔が取れるまで病院で休んでいただきます。

検査中、胃の粘膜から小さな組織を採ることがあります。
結果が出るまでに時間がかかる場合があります。説明のご来院日時をお伝えします。

こせんじょう通あんどうクリニック

TEL 0561-63-0700